内視鏡検査時の鎮静剤投与に関する説明書・同意書

【鎮静剤使用の目的】

① 不安の強い方、痛みを感じやすい方の苦痛を和らげる
② 胃の検査においては、のどの違和感、嘔吐反射、検査に対する不安感を和らげる
③ 大腸検査においては、検査中の腹痛、腹部の張り感、検査に対する不安感を和らげる

【鎮静剤の短所】

☐ 点滴をしなくてはならない
☐ 半日程度眠気やふらつきが続くことがある・転倒の危険性もある
☐ 検査後１時間以上休憩してから帰宅することが必要になる
☐ 検査当日は自動車・バイク・自転車などの運転はできません
☐ 痛みなどの危険な兆候を隠してしまう可能性がある
☐ まれに、下記のような合併症や副作用がある

【鎮静剤投与の合併症・副作用】

☐ 注射部の炎症・静脈炎・筋障害
☐ 血圧低下・ショック・呼吸抑制（呼吸回数が少なくなる）・覚醒遅延（目が覚めない）
※投与中は注意深く観察し、合併症に対して速やかに適切な処置を行います。

【注意事項】

☐ 当日は、車・バイク・自転車などの乗り物の運転は控えてください。万が一、事故を起こされた場合は自己責任となり、当院では責任を負いかねます。
☐ 万が一、合併症が生じた場合、最善の処置を行います。入院・点滴薬剤投与・酸素投与・蘇生処置などが考えられます。合併症によって生じた医療費も患者様のご負担となります。

説明日時：　　年　　月　　日　　説明医師：

私は、鎮静剤投与に関する説明を受け、納得したうえで内視鏡時の鎮静剤投与を受けることに同意すると共に、上記実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には適宜処置されることについても同意します

※ 検査当日、ご自分で運転（自動車・バイク・自転車）する患者様は希望されても鎮静剤処置は行えません

患者署名：

親族又は代理人：　　（続柄：　　）

医療法人互恵会　池田回生病院